

伊丹市自転車活用推進計画 令和6年度取組状況の評価(案)

令和7年度第1回伊丹市総合交通会議(進捗管理部会)

日時:令和7年8月5日(火)10時～
場所:伊丹市役所 1階 101会議室
都市交通部交通政策室交通政策課

テーマ1「まもる」 自転車通行ルールが守られているまち

1. 取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

自転車安全利用の促進(7施策)

◆進捗状況が【予定通り】の取り組み 7施策

- ①自転車安全利用に関する啓発[3]
- ②学校教育での自転車安全教室の実施[3]
- ③自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ④警察による指導強化[5]
- ⑤自転車事故マップの作成[3]
- ⑥自転車保険の加入推奨[6]
- ⑦自転車点検整備の啓発[3]

2. 指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R10	R6 評価
交通安全教室の参加者数(人/年)	↑	— 6,258	6,300 4,322	6,350 4,716	6,400 4,779	6,450 5,014	6,650 —	△
自転車関連事故件数(件/年)	↓	— 420	396 238	377 184	357 160	337 172	258 —	◎
人口1万人当たりの自転車関連事故件数(件/年)	↓	— 21	20 12	19 9	18 8	17 9	13 —	◎



3. 計画の進捗に対する評価

市、警察が連携し、「自転車事故多発地点」を中心に街頭啓発が行われており、「自転車関連事故件数」が本計画の目標値を達成する等、効果があらわれています。

特に、令和6年11月1日に施行された改正道路交通法により、自転車運転中の携帯電話の使用の禁止及び自転車運転中の酒気帯び運転の罰則規定の整備など、新しく罰則規定が整備されたことを受けた広報・啓発活動の強化は、自転車安全利用につながる取り組みであると考えられます。

また、オリジナル啓発動画「ITAMI BICYCLE MANUAL」や「自転車ハザードマップ」を活用した交通安全教室の実施や自転車ヘルメット着用の重要性などの啓発は、安全意識の向上につながるものと考えられます。

1. 取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

自転車通行環境の整備・確保(6施策)

◆進捗状況が【予定通り】の取り組み 6施策

- ①自転車通行空間の整備[1]
- ②道路標識や道路標示等の適切な設置運用[51]
- ③通学路・生活道路の安全対策[12]
- ④街路樹の適切な管理[9]
- ⑤無電柱化の推進[8]
- ⑥警察による取締強化[5]

2. 指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R10	R6 評価
自転車レーン等 整備区間延長 (km)	↑	—	9.0	9.4	10.5	12.2	16.0	△
	↓	7.8	9.0	9.2	9.5	9.9	—	

3. 計画の進捗に対する評価

「自転車レーン等整備区間延長」が目標値を達成していないものの、**県道山本伊丹線の自転車レーンの整備工事が進む**等、自転車通行空間の整備が進められています。

また、(都)山田伊丹線や(都)塚口長尾線の**電線共同溝事業**や森本8030号線における歩道の再整備など、自転車・歩行者通行空間の確保に加え、良好な都市景観の創出にも寄与していると考えます。



1. 取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

駐輪環境の整備・確保(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の取り組み 4施策

- ① 放置自転車等の啓発・指導[45]
- ② 放置自転車等の撤去強化[46]
- ③ 自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ④ 自転車盗難防止[52]

2. 指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R10	R6 評価	
市営自転車駐車場 利用台数(台/ 日)	↑	目標	—	6,064	6,331	6,598	6,865	6,865	△
		実績	6,865	5,999	6,370	6,680	6,777	—	
放置自転車等台 数(台/日)	↓	目標	—	120	119	118	117	113	◎
		実績	120	58	38	56	77	—	

3. 計画の進捗に対する評価

「放置自転車等台数」が目標値を達成しているものの、昨年度に引き続き実績値が増加しています。放置自転車が多発する地点に啓発看板を設置するなど、ポイントを絞った啓発・指導等に引き続き取り組む必要があると考えます。

また、自転車盗難防止の取り組みでは、オリジナルキャラクター「きいたん」が解説する自転車盗難対策動画「きいたんは1秒を惜しまない」の公開や、21秒のショート動画「NO MORE 自転車泥棒～自転車を守る3力錠～」の公開が行われています。年間の自転車盗難発生件数に占める、施錠をしていない自転車台数の割合が約7割となっていることから、引き続き、市、警察が連携し、自転車施錠の促進に取り組む必要があると考えます。



1. 取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

総合的な自転車活用の推進(5施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の取り組み 5施策
 - ①サイクリングモデルルート of 環境整備[53]
 - ②バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
 - ③シェアサイクル等の検討[40]
 - ④災害時の自転車活用[54]
 - ⑤自転車通勤の促進[20]

2. 指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R10	R6 評価
貸自転車台数 (台)	↑ 目標実績	—	174	181	187	200	225	△
		174	164	173	162	21	—	

3. 計画の進捗に対する評価

「貸自転車台数」が目標値を達成していない。民間事業者によるレンタサイクルサービスの撤退が見られたものの、**シェアサイクルサービスが拡充される**など、観光やにぎわい創出に繋がる、自転車を活用したまちづくりが進められています。

また、「自転車通勤の促進」の取り組みでは、市職員向けにクルマから環境にやさしい鉄道やバス、自転車、徒歩などの**エコな通勤手段に転換する「エコ通勤」の啓発**が行われ、環境にやさしい通勤手段の利用を促進する効果的な取り組みであると考えます。

